

福井幸男博士記念号の発行に際して

福井幸男教授は、2017年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。福井教授は、1992年4月に関西学院大学商学部就任され、爾来25年の間、商学部および商学研究科の研究・教育、後進の育成ならびに大学の行政に多大な貢献をされてこられました。

福井幸男教授は、関西学院中学部、高等部のご出身で、1971年3月に関西学院大学経済学部を卒業後、関西学院大学大学院経済学研究科修士課程、後期課程に進学されました。その後、大阪工業大学工学部の助手、専任講師、大阪産業大学経済学部の助教授、教授を経て、1992年4月より関西学院大学商学部教授として就任されました。商学部では、統計学基礎、ビジネス情報特論、情報処理論などの講義を担当されるとともに、研究演習では学生実験店舗を開設され、学生が起業を実地体験する実践的な教育も行われました。また、商学研究科博士課程前期課程においても数多くの修了生を社会に送り出されました。行政では、1994年4月に学長補佐（11月まで）、2008年4月に産業研究所長（2年間）、2010年4月に大学図書館副館長（3年間）、2013年4月にキャリア教育プログラム室長（4年間）として重責を果たしてこられました。

福井幸男教授のご専門は、経済統計であり、1988年に関西学院大学より経済学博士の学位を授与されておられます。先生は、統計処

理の観点から経営情報システム、情報セキュリティ、生産管理や品質管理の経営システムに関心を持ち研究されてこられました。先生は *Econometrica* への単著論文掲載を含む数多くの研究論文、単著、共著、編著、翻訳書などを出版され、商工総合研究所平成18年度中小企業研究奨励賞本賞および日本生産管理学会学会賞を受賞されておられます。また、福井幸男教授は、生産管理および品質管理への統計手法の取り組みを展開され、日本生産管理学会会長として真摯に学会の発展および社会に貢献されてこられました。さらに、日本経営システム学会理事、兵庫栄養専門学校理事も歴任されておられます。

福井幸男教授のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できますことは大きな喜びであります。最後になりましたが、本記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、ならびに編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2017年3月

商学部長 井上達男